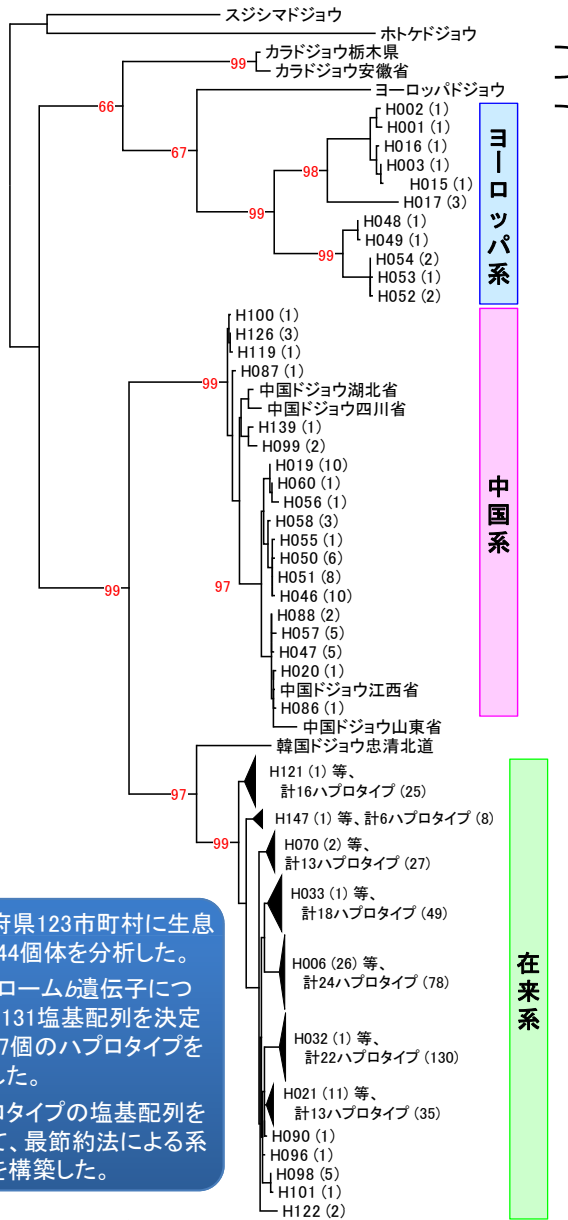


遺伝的クレード(分岐群)からみた日本のドジョウの集団分布図

日 本に生息するドジョウは3つの遺伝的グループから構成され、それぞれ特徴的な分布を示すことを、ミトコンドリア DNA の塩基配列により解明しました。このような情報は遺伝子資源を保全するための新たな指標として、今後の水域環境の整備に活かすことが期待されます。

ドジョウの系統樹



・40道府県123市町村に生息する444個体を分析した。
・シトクロームb遺伝子について1,131塩基配列を決定し、147個のハプロタイプを特定した。
・ハプロタイプの塩基配列を用いて、最節約法による系統樹を構築した。

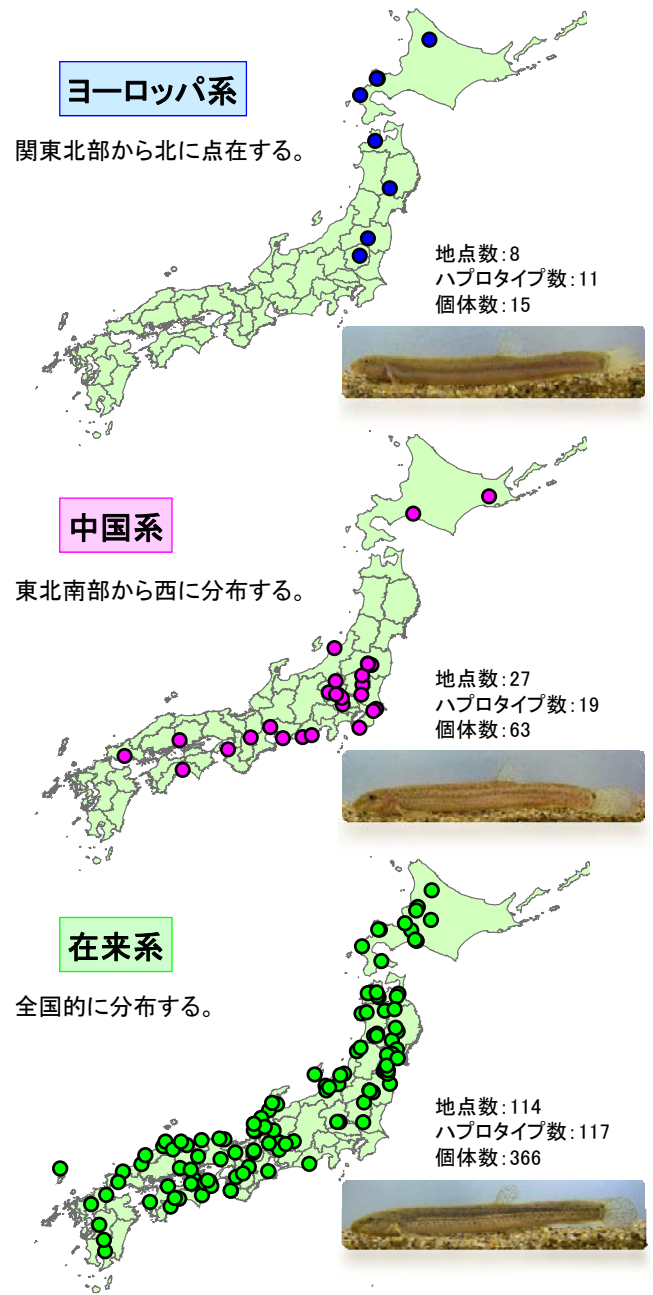
数字: 主要分岐での60%以上のブートストラップ分岐確率

H001 (1): ハプロタイプ番号(個体数)
在来系については一部を簡略化している。

**Paramisgurnus dabryanus*

***Misgurnus anguillicaudatus*

遺伝的グループの地理的分布図



カラドジョウ*

ドジョウ**

・当分析法は魚体から区別しにくいカラドジョウとの判別にも利用できます。
・他地域個体を移殖・放流しないことが各地点の遺伝子保全に繋がります。